

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	経済学	
科目基礎情報							
科目番号	0006		科目区分		一般 / 必修選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	環境都市工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	福田・照山著『マクロ経済学・入門 第4版』有斐閣、2011年						
担当教員	武長 玄次郎						
到達目標							
日本と取り巻く経済状況を、理論と実際の両面から理解できるようになる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
JABEE A-1 準学士課程 1(2)							
教育方法等							
概要	日本経済の取り巻く問題点を理解し解決策を探る						
授業の進め方・方法	講義形式で進め、適宜映像教材を用いる						
注意点	授業90分に対して、教科書や授業中に伝える教材等で同じ時間予習と復習を行う						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業方法の理解		
		2週	GDPとは何か		GDPについて理解できるようになる		
		3週	GDPの変化		GDPで見る日本の発展と停滞の歴史を理解できる		
		4週	消費の仕組み		消費が経済発展とどう結びつくかを理解できる		
		5週	日本人の貯蓄		日本人の貯蓄行動の変化について理解できる		
		6週	投資のあり方		投資の大切さについて理解できる		
		7週	日本経済の停滞		長引く日本経済の停滞の原因について理解できる		
		8週	金融の仕組み		金融の基本的な枠組みについて理解できる		
	2ndQ	9週	株式市場		株式市場のあり方と日本の証券市場の特徴を理解できる		
		10週	貨幣の仕組み		人間が経済を動かす上で不可欠な、貨幣について理解できる		
		11週	貨幣の需要と供給		貨幣の需要と供給を適正化する仕組みを理解できる		
		12週	日本銀行の役割		日本銀行の歴史と業務内容、今後の役割を理解できる		
		13週	乗数理論		経済発展の基本的な仕組み、乗数理論を理解できる		
		14週	IS-LM分析		現在の基本的な経済分析、IS-LM分析を理解できる		
		15週	景気対策の歴史		過去の景気対策を理解できる		
		16週					
後期	3rdQ	1週	経済政策の必要性		経済政策がなぜ必要かを理解できる		
		2週	景気循環		景気循環を理論的に理解できる		
		3週	財政問題		日本の財政問題の深刻さを理解できる		
		4週	国債の歴史		国債問題を長期的、歴史的に理解できる		
		5週	インフレの歴史		インフレの問題点を世界的・歴史的に理解できる		
		6週	デフレのもたらすもの		デフレの悪影響を、日本や世界の実態に即して理解できる		
		7週	世界金融危機		世界金融危機の原因と影響を理解できる		
		8週	失業問題		日本の失業問題の現状を理解できる		
	4thQ	9週	世界の貧困		世界の貧困問題の深刻さを理解できる		
		10週	女性・老人と労働市場		女性と高齢者にとっての労働市場について理解できる		
		11週	経済成長理論		何か経済成長をもたらすのか、国際経済の見地から理解できる		
		12週	先進国と途上国		先進国と途上国の格差と格差縮小について理解できる		
		13週	為替レート		経済全体を左右する、為替レートの決定条件を理解できる		
		14週	国際通貨制度		国際通貨制度の発展について歴史的に理解できる		
		15週	世界経済と日本経済の将来		日本と世界の経済から見た将来を展望できる		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100

基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	50	0	0	0	0	0	50